

★去る21日に22年春闘最後の団体交渉開く＝夏期一時金回答の再検討ならず★

# 当局曰く「賃金・一時金も含めて、今様々な改革を進めている。理事会だけでなく、職員全体で頑張ることが必要」

どんなに「女子医大は変わる。改革を進めている」と強調しても、それを評価するのは教職員です。その評価が「吉」と出るのでしょうか?!

# 組合だよい

2022/6/24

東京女子医大  
労働組合

自らの要求実現と医療改善のために  
貴方も労働組合へ加入しましょう!

みなさんの  
加入を  
まっとう



貴方の加入  
が労働組合  
の力を強めて、賃金・労働  
条件の改善につながります!

去る21日に今春闘での最後の団体交渉が開かれましたので、交渉の主旨を報告します。

【組合】14日に提示された夏期一時金回答の再検討を求めたが、それに対する回答を聞きたい。

【大学】今回の回答である本給部分の一・八ヶ月という理事会決定に変更はない。

【組合】昨年の年末一時金の〇・五ヶ月アップや今年の賃金回答での5年振りの一号給引き上げについては、確かに改善しているという受け止めはしているが、問題はこれからの展望も含めて、理事会はどう考えているのか。

【大学】今一つ一つの問題解決に向けて、出来るところから手を付けている。医師事務作業補助者の採用などタスクシフト・シエアーの導入、看護師の採用に関しては例年よりも早めの取り組みで、昨年より内定者の数も増えている。働き方改革だけでなく、女性の働き易い環境づくりや研究支援など、様々な取り組みを進めている。しかし、そのことが全体に伝わっていない。それでポスターを作っって学内外に発信している。今後の結果に期待している。

【組合】いろんな改革を進めて。女子医大が変わろうとしているのは分かるが、給与の面ではどんな改革を考えているのか。

【大学】常に考えている。今回の一号給引き上げもその一つであり、国からの助成金についても給与等に反映させている。それ以外にも今具体的な案は出ていないが、いろいろ考えている。

【組合】大学が進めている様々な改革について、実際に評価するのは働いている教職員であり、これから女子医大に就職を考えている人達だ。彼らの評価によって、今後の女子医大の方向が決まる。去年・今年と大学が示してきた姿勢や様々な改革について「良し」と評価すれば、退職も減り、応募者も増える。しかし「ダメ」と評価すれば、さらに人員不足に拍車がかかる。その意味では理事会の今後の姿勢も重要な力ギになる。是非そのことを念頭において、今後の対応を考えてもらいたい。

【大学】おっしゃることは率直に理解している。だから理事会全体でしっかりやっていこうと思っている。さらに職員全体と一緒にやっていけたらベストだと思う。

【組合】教職員が望んでいることは、今回の賃金回答や一時金回答で示されたことを今後も継続して示してほしいということであり、そうすれば働く展望も開ける。それが単発で終わると、「ああ又か」ということになる。是非年末一時金や来年の賃上げで継続しているという姿勢を見せてほしい。

【大学】皆さんでしっかりやっていきましょう。まずは理事会がしっかりやり、職員全体が自分のためにやっていくことが、病院のためにもなり、回りまわって自分のためになると思う。

以上が団体交渉でのやり取りですが、果たして大学当局が期待する方向に本当に向かうのでしょうか。労働組合としても注視していきたいと思えます。

## ♥あなたも労働組合に加入しましょう♥

黙っては何も解決しません。組合に加入して理事会に要求・声をぶつきましょう!

- 第一支部（新宿本院）【内線】38811 【直通】3357-3785 ※水・金は担当者がおります
- 第二支部（足立医療）【内線】24512 （昼休み時間可能）※ホームページもあります

